

例 言

1. 本書は、平成 26 年度に京都府立大学文学部歴史学科の教員と学生がおこなったフィールド調査、およびそれに関連する研究、調査研究成果の活用についての概要報告集である。
2. 第Ⅰ部には、京都府立大学地域貢献型特別研究（ACTR）をはじめ、京都府下において歴史学科教員が中心となって実施したフィールド調査の概要を報告する。なお、複数年度にまたがる研究課題については、平成 25 年度以前の調査成果とあわせて収録している。
3. 第Ⅱ部は、京都府外の地域を対象に、科学研究費補助金の研究課題や受託研究、実習授業などの一環として、歴史学科の教員と学生が中心となって実施したフィールド調査の概要を収録した。
4. 第Ⅲ部には、平成 25 年度から平成 26 年度に実施した文化遺産デザイン研修の成果を収録した。文化遺産デザイン研修は、歴史や文化遺産に対する知識を活用し、社会に還元するための実践的な方法を学ぶ課外プログラムで、おもに歴史学科の学部 2～4 回生を対象としている。
5. 第Ⅳ部には、兵庫県篠山市において実施した、第 6 回文化遺産フィールド研修（平成 26 年 9 月）の成果を収録した。文化遺産フィールド研修は、文化遺産の調査、保全、活用などについて、実際に現地を訪れて学習するための課外プログラムで、おもに学部 2 回生を対象としている。
6. 本号の編集および表紙デザインは、向井佑介が担当した。第Ⅳ部は、稲穂将士（大学院博士前期課程）が編集実務を分担した。